



## 命を守るために(熱中症や水難事故の防止)

○ 一人一人の努力により、現在、新型コロナウイルス感染症については、一時期より感染者数が押さえられた状態が続いています。しかし、これから夏休みを迎え、人の移動が増えることが予想されることから、油断はできません。基本的な対策として、「三密の回避」「人と人の距離の確保」「マスクの着用」「手指消毒」「換気」などを引き続き徹底していく必要があります。

その一方で、夏季を迎え気温が上昇することから、熱中症のリスクが高くなっています。熱中症は、命に関わる重大な問題であることから、感染対策は講じつつも、場面によっては熱中症対策を優先させ、マスクを外すことを考えなければなりません。特に、体育の授業や運動部活動(活動中以外は感染対策が必要)、登下校の際などは、積極的にマスクを外すことを考えましょう。その上で、人との距離を確保する(2mが目安)、近距離で会話をしない、体育館は常時換気するなどの対策を講じましょう。

○ 先週末、全国のいろいろなところで、水の事故により、子どもが命を落とすという悲しい出来事がありました。暑くなり、涼を求めて水辺へ行くということがあられるかもしれませんが、命を落としてしまつては、取り返しがつきません。

一般社団法人水難学会によると、今年に入って6月24日までに、重大な事故に巻き込まれた子どもは、全国で13人いるそうで、この中には中学生も含まれています。2000年以降、中学生以下の子どもの水難事故による死亡・行方不明者数は減少傾向にあったのですが、2019年から、微増に転じています。また、重大事故を発生場所別に見ると、2015年以降は、河川での事故が圧倒的に多く、ここ数年では、池での事故も増えています。

これから、本格的な夏を迎えます。水の事故は、気温が25度を超えると、急激に増えると言われてます。かけがえのない命を守るために、子どもだけで川や池に遊びに行くことがないように、ご家庭でもご指導をお願いします。「友だちと釣りに行ってもいい?」と聞かれても、「危ないからダメ。」と答えるのがいいのではないのでしょうか。生徒の皆さんも、おうちの人に黙って水辺に行くことがないようにしましょう。

繰り返しますが、かけがえのない命を守るためです。みんなで気をつけましょう。

### 子どものマスク着用について

新型コロナウイルス感染症対策

人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合においては、マスクを着用する必要はありません。また、就学前のお子さんについては、マスク着用を一律には求めていません。

2m以上

#### 就学児について

(小学校から高校段階)

**マスク着用の必要がない場面**

- 屋外**
  - 人との距離が確保できる場合
  - 人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合
  - ＜例＞離れて行う運動や活動、鬼ごっこなど楽にならないうち遊び
  - ＜例＞屋外で行う教育活動(自然観察・夏生活動等)
- 屋内**
  - 人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合
  - ＜例＞個人で行う読書や調べ学習

**学校生活** 屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際には、積極的にマスクを外すことを考えましょう。体育館や屋内の施設では、換気や消毒の徹底をお願いします。

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。

#### 保育所・認定こども園・幼稚園等の就学前児について

**2歳未満**  
マスクの着用は推奨しません。

**2歳以上の就学前の子ども**  
他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めていません。マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。

夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要ない場面では、マスクを外すことを推奨します。  
マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、「声」の届かない距離での会話(2m以上)を徹底し、換気をお願いします。

### 5. 水辺やプールは楽しいけれど、「危険」がいっぱい!

#### 海

- 岸に近いところでも、沖に向けて強く流れる潮がある【離岸流】
- 游泳禁止区域で泳いだり、遊んだりしない
- 急な高波にさらわれることがある
- 急に深くなる場所がある

#### 川

- 川辺はすべりやすい
- 浅く見えても急に深くなる場所がある
- 穏やかな水面でも水中では複雑な流れがある
- 上流で雷雨やダムの放流があると急激に水かさが増すことがある

#### 池

- 池の周囲はすべりやすい
- 池の水面は茂みで隠れ、わかりにくい
- 池は、すり鉢状になっているところが多く、一旦落ちると上がりにくい

#### プール

- 準備運動をきちんとする
- 人の多いところでは飛び込まないようにする
- 監視員さんや係の人の言うことをきちんと聞く
- 体調に応じて無理をしないようにする